

阿南市「平等寺道」の整備作業報告書

21番札所太龍寺からの下り巡礼古道「平等寺道2km」の復活整備作業 整備作業が済んだ後は、史跡指定「平等寺道」の延長として追加登録予定。

報告者：一步会（新開）

1. 日時：平成26年7月20日(日) 8:00~13:30 天候は晴天
2. 参加者：阿南市加茂谷へんろ道の会、阿南市阿瀬比町有志、県外の“歩き遍路の会”、NPO法人 徳島共生塾一步会、あせんだ峠の会、阿南市文化振興課等 62名
3. 使用道具：熊手、鎌、のこ、木槌、つるはし等

下の方1km区間：落ち葉や小石を除ける、沢の周辺整備（一步会他が担当）



上の方1km区間：路面整備、足の踏み場、階段づくり（地元が担当）



参加した一步会会員等（富田、小松(2)、多田、計盛、姫野、谷口、新開）、



徳島新聞の記事（7. 21）

3/夜

第3種郵便物認可

阿南・太龍寺〜平等寺の2キロ区間 遍路道復活へ清掃

地元住民ら 国史跡指定目指す

四国霊場21番札所・太龍寺（阿南市加茂町）と22番平等寺（同市新野町）を結ぶ古道約5キロのうち、国史跡に指定されていない約2キロの区間で20日、地元住民ら62人が清掃奉仕した。住民らは荒れ放題となっている未指定区間を遍路道として復活させ、古道全体の国史跡指定を目指している。

地元「加茂谷へん」は、伐採した木を使う「道の会」が呼び掛けた。古遺全体の国史跡指定によって、四国霊場人徳島共生塾一步会や奈良県の「公認先達・歩き遍路の会」、周辺運を高めたい狙いもある。加茂谷へん道の住民が取り組んだ。

かつて遍路道だった阿南市阿南比町の「平等寺道」の一部で、参加者は倒木を取り除いたり、草を取り除いたり、傾斜のきつい場所を直した。（阿部研一）

「活動は道半ばだが、遍路道の魅力を多くの人に味わってもらうために継続したい」と話した。（阿部研一）

古道をふさいだ倒木を取り除く参加者
阿南市阿南比町